

「見る見る・ぬるヌル・ローラーアート（高学年）」

指導者 筑波大学附属小学校 北川 智久

1. 大会テーマおよび題材について

本題材の活動は、ローラーテクニックを中心とした模様づくりの表現と、その鑑賞を交互に行いながら思考を深めたり表現を工夫したりするものである。これまでに体験のあるローラーでの色塗りや色の組み合わせなどの効果の鑑賞などの「絵の具の表現・鑑賞」を生かして表現し、その表れを教師の提案するテーマに沿って鑑賞することで鑑賞が深まったり新たな視点を得て表現を更新したりすることが子供たちの学びになる。

活動の場所である「ランチルーム」は、複数の学年の児童が集って給食を食べる憩いの場所である。そのランチルームの窓や柱に「ローラーアートの作品を掲示して、より楽しい場所にしよう」という提案をすることが活動の第一次である。

活動の結果である作品を自分が思う場所に貼り、みんなで作品を鑑賞する。「この作品で、ランチルームがどう変わったか」という視点で鑑賞すると、「赤が印象的な作品で、中華料理やイタリア料理が食べたくなる空間になった」や、「色や模様が和風な感じで、和食が食べたくなる空間になった」などのような意見交換がなされると予想する。または、食事に関係するというよりは、「野原にいる雰囲気が味わえる」や、「運動がしたくなる感じがする」、「はずむような色と模様で、踊りたくなる」などの意見が出る作品も現れるだろう。

ひきつづき第二次では、「作品からの雰囲気で、その空間にいるときの気分が変わる」ことをふまえた上での表現活動をする。今度は、「〇〇な雰囲気の作品にしたい」という仮の目標を決めてから模様づくりをする。最終的には、「宇宙をイメージしていたけど、深海のようになってきたから予定変更した」のようになることもあるだろう。ここでは、既習の内容と試行活動の組み合わせから気づきを拾い集め、次に自分なりの目標を掲げてそれらの知識・技能を活用しようとする中にある学びをたいせつにして子供たちを見守り、支援していきたい。

2. 本題材のねらい

〇色や形の組み合わせで作品からの印象や場所の雰囲気が変わることにより、そのよさや特徴を表現に生かそうとする。(知識・技能)

〇絵の具による表現から試したことや気づいたことをもとに、それを活用して自分が表したい表現をめざそうとする。(思考力・判断力・表現力)

XIN ☆

○大きな紙にローラーテクニックなどで思いのままに絵の具を塗る心地よさを味わう。(学びに向かう力・人間性等)

3. 本題材の指導過程(1時間扱)

準備 共同絵の具(サクラ工作ポスターカラー)、模造紙、トレイ、スポンジローラー、ゴムローラー、パフ、EVA樹脂、刷毛、スポンジ、輪ゴム、マスキングテープ

学習活動	指導の内容と留意点
<p>○絵の具、ローラー、その他の用具と出会い、本時の活動内容を知る。</p> <p>○模造紙に自分なりの選択でローラーアートを施す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1枚できたら、好きな場所に掲示する。 <p>○場所と作品を組み合わせて鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつも座る席の窓に、元気が出る色の作品を貼っておかわりたくさんするんだ。」 ・「なんか、辛くてヒリヒリしそうな色だ。」 ・「縦横のマスがきちんとしていて、算数ルームって感じがする。」 <p>○自分がめざす雰囲気を決めてメモし、2枚目の作品を試し始める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「給食のときに泣く1年生が笑ってくれるようにできないかな。」 ・「いつでも明るい気持ちになれそうな模様にして、授業の場所に持ち歩きたい。」 	<p>○ランチルームに貼ると自分やみんなの気持ちが変わる作品づくりを提案する。</p> <p>○技法①～④の実演を教師がした後、試しながら進むように活動を開始させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定の時間制限をして掲示をする。 <p>○順番に移動しながら鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞者の視点で感想を聞き、その後に作者の意図を聞く。 ・「ランチルーム＝給食を食べる部屋」という感想と、それ以外の感想を区別するが両者を認める。 <p>○ランチルーム以外に貼ることも含め、自分の表現意図を決めて2作目をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図通りに進むよさと、試して気づいたことでの変更のよさを両方支援する。 ・テーマの紙を添えて、机上あるいは掲示して鑑賞する。

本時に予想される表現技法の例 ※共同絵の具(サクラ工作ポスターカラー)を使用

㊦ローラーテクニック…単色、グラデーション、ゴムなどを巻いたオリジナルローラー、混色と重色の使い分け。球状ローラーは叩くような方法で大小の丸い模様。

㊧ヘラでのぼす…大豆ぐらいの量の絵の具を数色並べて、まとめてヘラでのぼすことで虹のような模様をつくる。

㊨刷毛やスポンジ…刷毛やちぎったスポンジは線の太さの抑揚をつけやすい。

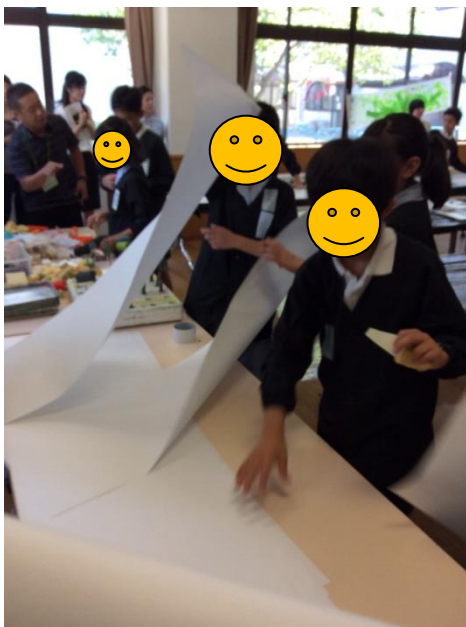
㊩スタンピング…化粧用のパフ、EVA樹脂のはぎれなどによるスタンピング。



教師による技法例の紹介・演示



ぼくは、チョコレートをイメージしました



やる気満々



明るいランチルームにしたいなと思って



ヘラでのぼしてみよう



さわやかな風に吹かれて給食が食べられたらなど





窓に貼りたい。ななめに。



「2枚目は、元気が出る感じにしたよ」
「じゃあ、校庭や体育館に合いそうだね」



丸い柱にぐるっと貼って。



ここは、ぼくが給食を食べる席の近くだよ

